

平成28年度 がん対策事業計画について

第2期宮城県がん対策推進計画 重点的に取り組むべき課題	県施策	がん対策加速化プラン
働く世代や小児へのがん対策の充実	がん対策推進調整事業 (当初予算 705 千円) ○がん対策の推進に関する重要事項を審議する「 がん対策推進協議会 」の運営(右図) 	
がんの予防とがん検診の受診率及び質の向上	メタボリックシンドローム対策戦略事業 (当初予算 12,223 千円) ○受動喫煙ゼロ作戦→「受動喫煙防止宣言施設」登録制度の推進 等 肝炎対策事業・肝炎治療特別促進事業 (当初予算461,927千円) ○肝炎ウイルス検査の実施, 肝炎治療に対する医療費助成 等 がん検診受診等促進・管理事業 (当初予算 4,740 千円) ① がん征圧月間事業 →パネル展, 講演会, 啓發行進等の実施 ② がん検診啓発事業 →県内の15企業・団体と連携し, 著名人による検診啓発イベントの実施 各種啓発事業(ピンクリボンフェスティバル等)への協力 ③ 生活習慣病検診管理指導協議会 →市町村が実施するがん検診の精度管理等 ④ がん教育事業 →小中学校への出前授業, 若年期女性への講演 生活習慣病検診従事者指導講習会 (当初予算 437 千円) 各種検診従事者向けの講習会  輝く女子に贈るからだサプリ Book	予防-② たばこ対策 ・受動喫煙防止対策の強化 等 予防-③ 肝炎対策 ・抗ウイルス治療に係る自己負担の軽減 等 予防-① がん検診 ・市町村が提供するがん検診についての実態の把握 ・市町村への研修を通じて受診勧奨の方法等の普及 等 予防-④ 学校におけるがん教育 ・「がんの教育総合支援事業」の実施 等
放射線療法, 化学療法, 手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成	がん診療機能強化事業 (当初予算 57,000 千円) ① がん診療連携拠点病院等の機能強化 →県内の7拠点病院のうち, 国が設置する病院を除く4病院(県立がんセンター, 大崎市民病院, 石巻赤十字病院及びみやぎ県南中核病院)に対し必要な費用を補助するもの。	がんとの共生-① 就労支援 ・拠点病院における仕事の継続を重視した相談支援の実施
がんと診断された時からの緩和ケアの推進	② 県北地域のがん診療機能の充実 →栗原, 登米及び気仙沼地域におけるがん医療の中核的病院に対し, がん相談支援機能等の充実のための事業を委託。 がん患者・家族地域支援推進事業 (当初予算 786 千円) ① 地域における在宅療養支援体制の構築 →各保健所で会議・研修会を開催し, 多職種連携体制を整備  ② 小児がん啓発事業 →県庁ロビー等での絵画展(右図)	がんとの共生-③ 緩和ケア ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の受講の推進 ・緩和ケアに携わる者や施設間の調整を担う人材の研修, 訪問看護ステーション等の看護師を対象とした研修の実施  県立がんセンター
情報提供と相談支援機能の充実	地域統括相談支援事業 (当初予算 5,090 千円) ○「 地域統括相談支援センター 」→相談事業, 患者会支援を公益財団法人宮城県対がん協会に委託して実施(右図)	 022-263-1560 FAX: 022-263-1548 宮城県がん総合支援センター ご相談受付 月曜～金曜 ※祝日・休日は除く 午前9時～午後4時
がん登録の更なる推進	がん登録事業 (当初予算 14,622 千円) ① 県内各病院からのデータ収集, 罹患データのデータベース化, 住基ネット一括照合システム等を利用した生存調査等を実施する「 がん登録管理事業 」の実施 ② がん登録従事者研修等を実施する「 がん登録推進事業 」の実施	 罹患率減少 生存率向上 死亡率減少をめざして  2016年1月 全国がん登録 始まります。